

農 大 情 報

平成24年 9 月号

編集発行：愛知県立農業大学校

「派遣実習」が始まる

本校教育部農学科の最重要科目である「派遣実習」が9月10日(月)から始まりました。

派遣実習は、先進農家等でより実践的な技術や経営方法、農家生活を体験し、本校で学んだ知識や技術を深めたり、派遣先の考え方や地域とのかかわり方を肌で感じるにより、今後の学習に役立てるため行っています。こうした趣旨に賛同いただける派遣先によって実習は成り立っています。本年度は、2年生87名が10月19日(金)までの40日間、派遣先で実習を行います。

本研修は、農林水産事務所農業改良普及課に派遣先の選定など全面的な協力をいただいで実施しています。派遣実習の初日にあたる9月10日(月)には、県内各地域の農業改良普及課(駐在室を含む)11か所で開始式を行いました。開始式には、派遣先、学生、農業改良普及課職員、本校職員が出席し、自己紹介、期間中の注意事項等の確認を行いました。自己紹介で多くの学生が、期間中のテーマや抱負を熱心に語っていたことが印象的でした。

10月19日(金)の最終日に、派遣実習を終えてたくましくなった学生が元気な笑顔を見せてくれることを期待しています。(新井和俊)

農学科の農産加工実習

農学科の各専攻は、専攻で生産する農畜産物の加工について実習を行います。

露地野菜専攻の2年生は、9月4日の終日、夏野菜を使った調理を学びました。

自分たちで育てたカボチャ、ナス、ピーマン、ネギ、モロヘイヤを使って、メイン

ディッシュのナスの挽肉はさみ揚げを始め焼きピーマンやカボチャのポタージュ、かぼちゃプリンなど6品を作りました。

最初に各材料の食品としての特性や料理のコツなどを学び、調理に取り組みました。栽培から調理、消費までを体験したことで、新たな発見や野菜に対する興味が一層増したようです。楽しくて美味しい実習となりました。

9月6日には、果樹専攻の加工実習として、イチジクとブドウを使ってジャムを作りました。材料は、果樹専攻で収穫したブドウ(ピオーネ)20kgとイチジク20kgで、どちらも今が旬ということで、大変美味しいジャムができあがりました。このジャムはビン詰めし、12月1日に開催する農大祭で直売する予定です。(山田勝)



防災訓練を実施しました

防災訓練を9月5日(水)に実施しました。

今年度は天気に恵まれて、屋外訓練も滞りなく実施することができました。

学習ほ場にて実習中に東海地震に関する

予知情報が発令されたとの想定で参集訓練を行い、引き続き本校における地震対応について学生に周知しました。

その後、岡崎市東消防署の指導による消火器による消火訓練、消防署工作車による救助訓練の見学、中央教育棟 2 階の救助袋を利用した避難体験をしました。学生らは率先して訓練に参加し、非常時の対応について身体で学習することができました。本校では、昨年の東日本大震災を契機に、防災の備えを強化していますが、今回の訓練を機会に、職員、学生共に防災意識の更なる醸成を図ってまいりたいと思います。(森真太郎)



消火器による消火訓練



救助訓練の見学

農大祭2012の準備すすむ

毎年、12月の第一土曜日に農大祭を開催しています。農大で生産した農産物の直売、後援会のバザーや模擬店が出店され、3000人以上の来訪者で賑わう恒例の行事です。

今年は、学生会が中心となって新しい企画を考え、夏休み中から活発に活動しています。その企画の一つが、昨年の東日本大震災で被害を受けた東北3県の震災復興に少しでも力になればとの思いから、岩手、宮城、福島の各県の農大生を招き、支援イベントを計画しています。同じ農大生としてどんな支援ができるのか、また、被災県の農大生がどんな災害体験や災害支援をしてきたかなどをテーマに交流会を行います。この企画を実現するには、資金が必要となり、学生会が資金集めのため寄付を行ったところ、多くの理解者、支援者を得ることができ、9月末現在、予定額達成まであと少しの段階となりました。初めて行った活動ですが、学生達は多くの協力が得られたことに感謝し、また、努力が報われたことで自信を深めています。この取組は、新聞にも取り上げられ、更に善意の輪が広がりました。(後藤玲司)

12月の「農大祭」被災地の農大生招待

苦境の農家 支援実れ

農大祭の準備がすすむ中、被災地の農大生を招待し、交流会を開催する。交流会では、被災地の農大生がどのような災害体験や災害支援をしてきたかなどをテーマに話し合う。また、被災地の農産物の直売やバザーも行う。交流会は、12月1日(土)午後2時から、中央教育棟2階の会議室で開催される。交流会の参加費は無料。交流会の申し込みは、学生会まで。問い合わせ先：学生会 電話 0564-21-1602

岡崎の県立農業大学校生

「被災地へ寄付する」活動に、本校生も参加する。被災地の農大生を招待し、交流会を開催する。交流会では、被災地の農大生がどのような災害体験や災害支援をしてきたかなどをテーマに話し合う。また、被災地の農産物の直売やバザーも行う。交流会は、12月1日(土)午後2時から、中央教育棟2階の会議室で開催される。交流会の参加費は無料。交流会の申し込みは、学生会まで。問い合わせ先：学生会 電話 0564-21-1602

協賛金集めに奔走「現状伝え復興に貢献を」

「被災地へ寄付する」活動に、本校生も参加する。被災地の農大生を招待し、交流会を開催する。交流会では、被災地の農大生がどのような災害体験や災害支援をしてきたかなどをテーマに話し合う。また、被災地の農産物の直売やバザーも行う。交流会は、12月1日(土)午後2時から、中央教育棟2階の会議室で開催される。交流会の参加費は無料。交流会の申し込みは、学生会まで。問い合わせ先：学生会 電話 0564-21-1602

中日新聞に取り上げられた学生会の活動